



川口けいすけの任期総括

今期は、4年間の内3年間に新型コロナウイルスによる影響下で活動することになりましたが、議員個人として、また会派の代表として、50年先100年先を見据え、市民の立場からの監視と積極的な政策提言に努めました。先の東日本台風で大きな被害を受けたことやコロナもあり、議会でも災害対応・対策に多くの時間を割くことになりました。ここでは、議会での一般質問や質疑を通しての提言を中心に、抜粋しています。(詳細は川口けいすけHPをご覧ください。)

災害対策への提言 (一部を抜粋、他はHPに掲載)

☆ 水害時の長距離避難問題を解消！

提言前

川口の提言

提言後

市は水害時に緊急避難場所を設けず、浸水想定区域には避難させない方針。浸水想定区域外の避難所まで長時間の徒歩避難を想定。

「暴風雨の中の避難も想定される中、1時間も2時間も歩かせることが最も安全で、妥当な避難行動と言えるのか」と問いただし、浸水想定区域内でも校舎上階部を緊急避難場所にするよう提言！

水害時にも市内25カ所に緊急避難場所を設けることを決定。内10カ所は、施設の上層階を利用することで浸水想定区域内にも緊急避難場所を指定。

- ☆ 避難場所の増設を提言→実現。教育センター、川越総合運動公園体育館、西・南文化会館、等の開設を決定。
- ☆ 避難所でのピクトグラム(絵文字)の利用を提言→実現。(誰もが分かりやすく行動しやすい。)
- ☆ 職員間の情報提供・情報共有が課題と指摘→改善。マニュアルの見直し及び現地調査班はコンピューターネットワークを活用し情報共有体制を強化。

☆ 荒川第2第3調節池事業に対し国へ具体的な働きかけを要求→実現！ 市長が国に要望書を提出。(囲繞堤工事より先に堤防のかさ上げ工事が不可欠！)

国土交通省 荒川第2第3調節池事業



こちらは別事業

堤防が低い区間

写真部分出典：荒川調節池工事事務所

☆ 2020年3月、コロナ対応を会派として 市長及び教育長に当初予算の組み換えによる対策予算の捻出等を緊急提言！



